“健康・快適は窓から” 知って得する

すまいの健康・快適だより

8
2023 AUGUST

テーマ

台風の備えは「窓」から！
窓割れ防止で住まいを守る

2023年6月、台風2号が非常に強い風や大雨をともない、各地に大きな被害をもたらしました。自然災害による被害を防ぐには、普段からの正しい備えが必要です。近年の大型化した台風・強風の影響で飛来物が窓にぶつかりガラスが割れてしまう被害も出ています。窓を守るためには、どんな対策がいいのか考えてみましょう。

飛来物から窓をしっかり守る対策は？

検証実験！シャッター・雨戸の防災効果

「猛烈な強さ」の台風が増える中、暴風対策として窓に養生テープを貼る、段ボールでガラスを補強するという方法もありますが、やはり飛来物が当たるとガラスが割れて飛散してしまう懸念があります。植木鉢や瓦など、硬いものがぶつかっても物理的に窓ガラスが割れるのを防ぐ「シャッター」や「雨戸」が有効です。シャッターや雨戸は後付けもできるのでぜひ検討してみましょう。

おすすめ対策は裏面へ！

台風がくる前にやっておきたい 安全対策

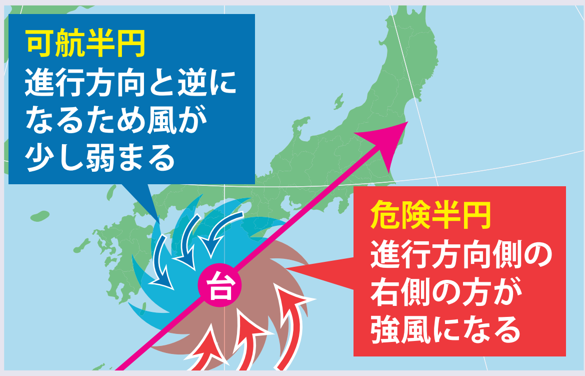
台風や強風は天気予報を参考に、事前に準備や対策をすることで被害を軽減することができます。
台風シーズンになる前に、家の周りでどんな危険性があるかもしっかり把握しておきましょう。

飛ばされると危険な物を家の中にしまう

台風や強風がくる前に普段家の外にある植木鉢や自転車、物干し竿などを家の中や倉庫にしまうかしっかり固定して、風で飛ばされないように注意しましょう。

シャッターや雨戸で窓の安全性を強化

シャッター・雨戸は、しっかり閉めましょう。飛来物が当たった際も窓ガラスが割れるのを防いでくれます。後付けシャッターや雨戸も1日で取り付けられます。



風の強さと吹き方

風の強さ	被害
非常に強い風（20m/s ～）	■細い木の幹が折れる ■看板が落下・飛散 ■屋根瓦などが飛散
猛烈な風（30m/s ～）	■樹木・電柱が倒れる 35m/s以上では ■外装材が広範囲で飛散

（出典：気象庁　雨と風の階級表より）

天気予報もチェックして被害が出る前に早めに対策を心がけましょう！

強風や台風から住まいを守る、窓リフォームはこちら！

比べて納得！防災効果
飛来物を想定した実験結果を動画でチェック▶

リフォームシャッター

リフォームシャッターなら、既存の窓に外壁の上から簡単に取り付け。防犯性向上と台風対策ができます。電動タイプ、採風タイプ、耐風タイプなども選べます。

1窓あたり 約1時間～

取替雨戸パネル　標準タイプ

今ついている雨戸パネルを最短2 時間で簡単取り替え。台風の時に飛来物から住まいを守ります。ほとんどのメーカーの雨戸パネルと交換ができます。

1窓あたり 約2時間～

お問い合わせはお気軽にどうぞ！

supported by PATTOリクシル マド本舗